

### 3・20 さっぽろピースウォーク

## 見つめ直そう！ 『歴史と政治』



「集団的自衛権は認めない」と市内をピースウォークした＝3月20日、札幌市

2003年3月20日、米軍が首都バグダッドを空爆して開始した、イラク戦争から11年目を迎えた。イラク戦争の記憶を忘れないため、3月20日、札幌市・大通西4丁目、イラク戦争開戦の日～あれから11年3・20さっぽろピースウォークが開かれ、約2000人が参加した。

北海道平和運動フォーラム・中村代表は「今日の、日本の有様も含めて、イラク戦争を考え直すことを忘れてはならない。いつ、どこで、だが、戦争を起そうとするのか。なぜ貧困が生まれ、犯罪が発生するのか。私たちは、歴史と政治を見つめ直していく必要がある」と呼びかけた。



悪天候にも関わらず、4千人が参加した＝3月20日、東京都・日比谷野外音楽堂

今後の取り組みとして、福山真劫さん(平和フォーラム共同代表)が、①「戦争をさせない1000人委員会」賛同の拡大。②全国署名の取り組み。③地域や職場で「戦争をさせない」という集会や学習会の強化。④国会議員や地方議員への要請行動の強化を提起し、「閣議決定が最大の山場。そのときは全国から参加してほしい」と呼びかけた。



雨の中行われた中央集会。「給与制度の総合的見直し」反対を求め、3千人が結集した＝3月20日、東京都・日比谷野外音楽堂

中央集会では、棚村・公務員連絡会議長が「人事院は今年の勧告で地域間、世代間配分の見直しを含む給与制度の総合的見直しを強行しようとしている。われわれの署名が180万筆を超えていること、重みを受けている」と訴えた。

「2014年春季生活闘争3・20中央集会は、3月20日、日比谷野外音楽堂で開かれ、全国から3,000人、自治労北海道から55人の組合員が結集し、給与制度の総合的見直し反対、臨時非常勤等職員を含む公務員労働者の賃上げを求め、デモ行進を行った。

影響する。すべての働くものの「底上げ・底支え」実現のため、みなさんの取り組みに強く期待する」とあいさつした。集会を終えた参加者は、人事院前交渉支援行動と霞ヶ関一周のデモ行進に分かれ「公務員労働者の賃金を上げる」「地域間給与配分の見直し反対」「非常勤職員の賃金を上げる」「超過勤務を短縮しろ」と力強くシュプレヒコールを繰り返した。書記長クラスと人事院

3月20日、東京・日比谷野外音楽堂で「憲法を破壊する集団的自衛権行使反対! 戦争をさせない1000人委員会」が発足した。悪天候の中だったが、会場から溢れ出る約4000人が参加し、熱気あふれる集会となった。

開会のあいさつに立つた鎌田慧さん(ルポライタ)は、「集団的自衛権行使容認へ突き進む安倍政権と対決し、戦争をなくし、みんなが明るく生きていける社会をめざす運動として『戦争をさせない1000人委員会』のネットワークを全国に

「戦争をさせない1000人委員会」賛同の拡大。②全国署名の取り組み。③地域や職場で「戦争をさせない」という集会や学習会の強化。④国会議員や地方議員への要請行動の強化を提起し、「閣議決定が最大の山場。そのときは全国から参加してほしい」と呼びかけた。

# 「給与制度見直し」反対3千人が結集

## 『署名』の重み受け止めろ!

「2014年春季生活闘争3・20中央集会は、3月20日、日比谷野外音楽堂で開かれ、全国から3,000人、自治労北海道から55人の組合員が結集し、給与制度の総合的見直し反対、臨時非常勤等職員を含む公務員労働者の賃上げを求め、デモ行進を行った。

影響する。すべての働くものの「底上げ・底支え」実現のため、みなさんの取り組みに強く期待する」とあいさつした。集会を終えた参加者は、人事院前交渉支援行動と霞ヶ関一周のデモ行進に分かれ「公務員労働者の賃金を上げる」「地域間給与配分の見直し反対」「非常勤職員の賃金を上げる」「超過勤務を短縮しろ」と力強くシュプレヒコールを繰り返した。書記長クラスと人事院

開会のあいさつに立つた鎌田慧さん(ルポライタ)は、「集団的自衛権行使容認へ突き進む安倍政権と対決し、戦争をなくし、みんなが明るく生きていける社会をめざす運動として『戦争をさせない1000人委員会』のネットワークを全国に

「戦争をさせない1000人委員会」賛同の拡大。②全国署名の取り組み。③地域や職場で「戦争をさせない」という集会や学習会の強化。④国会議員や地方議員への要請行動の強化を提起し、「閣議決定が最大の山場。そのときは全国から参加してほしい」と呼びかけた。

今後の取り組みとして、福山真劫さん(平和フォーラム共同代表)が、①「戦争をさせない1000人委員会」賛同の拡大。②全国署名の取り組み。③地域や職場で「戦争をさせない」という集会や学習会の強化。④国会議員や地方議員への要請行動の強化を提起し、「閣議決定が最大の山場。そのときは全国から参加してほしい」と呼びかけた。



全日本自治団体労働組合  
北海道本部  
〒060-0806 札幌市北区  
北6西7 北海道自治労会館  
電話 011-747-3211  
FAX 011-700-2053  
編集・発行 渡部 裕幸

戦後日本の平和と繁栄を支えてきた憲法9条を、安倍政権が有名無実化しようとしている。集団的自衛権の行使を認めれば、日本が攻撃されないのに、自衛隊が海外で武力行使することにつながる。それは平和国家ではない。憲

法9条は過去の侵略戦争への反省と不戦の誓いを示す国際公約だ。国の根幹にかかわる極めて重大な問題を、国会で真摯に議論を尽くす姿勢がないのは問題だ。戦争をなくし、明るく生きていける社会をめざす運動に取り組もう。

携帯電話で下記のコードを読み込むと道本部ホームページにリンクすることが出来ます。ぜひ活用ください。



## 明るく生きられる社会をめざす

### 戦争をさせない1000人委員会出発集会

3月20日、東京・日比谷野外音楽堂で「憲法を破壊する集団的自衛権行使反対! 戦争をさせない1000人委員会」が発足した。悪天候の中だったが、会場から溢れ出る約4000人が参加し、熱気あふれる集会となった。

開会のあいさつに立つた鎌田慧さん(ルポライタ)は、「集団的自衛権行使容認へ突き進む安倍政権と対決し、戦争をなくし、みんなが明るく生きていける社会をめざす運動として『戦争をさせない1000人委員会』のネットワークを全国に

「戦争をさせない1000人委員会」賛同の拡大。②全国署名の取り組み。③地域や職場で「戦争をさせない」という集会や学習会の強化。④国会議員や地方議員への要請行動の強化を提起し、「閣議決定が最大の山場。そのときは全国から参加してほしい」と呼びかけた。

今後の取り組みとして、福山真劫さん(平和フォーラム共同代表)が、①「戦争をさせない1000人委員会」賛同の拡大。②全国署名の取り組み。③地域や職場で「戦争をさせない」という集会や学習会の強化。④国会議員や地方議員への要請行動の強化を提起し、「閣議決定が最大の山場。そのときは全国から参加してほしい」と呼びかけた。

今後の取り組みとして、福山真劫さん(平和フォーラム共同代表)が、①「戦争をさせない1000人委員会」賛同の拡大。②全国署名の取り組み。③地域や職場で「戦争をさせない」という集会や学習会の強化。④国会議員や地方議員への要請行動の強化を提起し、「閣議決定が最大の山場。そのときは全国から参加してほしい」と呼びかけた。

今後の取り組みとして、福山真劫さん(平和フォーラム共同代表)が、①「戦争をさせない1000人委員会」賛同の拡大。②全国署名の取り組み。③地域や職場で「戦争をさせない」という集会や学習会の強化。④国会議員や地方議員への要請行動の強化を提起し、「閣議決定が最大の山場。そのときは全国から参加してほしい」と呼びかけた。

今後の取り組みとして、福山真劫さん(平和フォーラム共同代表)が、①「戦争をさせない1000人委員会」賛同の拡大。②全国署名の取り組み。③地域や職場で「戦争をさせない」という集会や学習会の強化。④国会議員や地方議員への要請行動の強化を提起し、「閣議決定が最大の山場。そのときは全国から参加してほしい」と呼びかけた。

今後の取り組みとして、福山真劫さん(平和フォーラム共同代表)が、①「戦争をさせない1000人委員会」賛同の拡大。②全国署名の取り組み。③地域や職場で「戦争をさせない」という集会や学習会の強化。④国会議員や地方議員への要請行動の強化を提起し、「閣議決定が最大の山場。そのときは全国から参加してほしい」と呼びかけた。

### JICHIRO スケジュール

- 4月
- 5日(土) 道本部現業公企評第4回四役・第2回幹事会(～6日・札幌市)
- 7日(月) 第14回執行委員会(札幌市)
- 12日(土) 道本部青年部政治学習会(札幌市)「戦争をさせない北海道委員会」設立集会(札幌市)
- 17日(木) 第2回専従者会議(～18日・札幌市)
- 19日(土) 4・26「チェルノブイリ」市民講演会(札幌市)
- 22日(火) 第15回執行委員会(札幌市)

### 道本部ホームページ

自治労北海道 検索 ユーザー名:minnade  
組合員専用ページは パスワード:danketsu2013

## 『給与制度の総合的見直し』 反対署名 集約状況

※最終集約数は次号でお知らせします。  
3月26日  
現在集約数

# 165,415筆

※集約した署名は中央行動・交渉に持ち込みます!

## 28年目の4.26 ～くり返さない!チェルノブイリ・福島～

### チェルノブイリデー市民講演会

- ◆4月19日(土) 13:30～16:00
- ◆札幌市・自治労会館5F大ホール
- ◆講師 アンナ・コロレフスカさん(国立チェルノブイリ図書館副館長)  
ザムラ・ヴァレンティナさん(小児科医師)

### チェルノブイリデー市民集会

- ◆4月26日(土) 11:00～12:00
- ◆札幌市・大通西6丁目広場

全道  
病院集会

# 看護師20万人体制の実現



道本部衛生医療評議会は、3月15日・16日に自治労会館で、全道病院集

ははじめに、小林議長が「今年度の診療報酬改定が消費税増税を踏まえる

と実質的にはマイナスとなる。公立病院改革プランの結果、道内病院の半

数が赤字で、厳しい病院運営となり、医師や看護師の確保が困難な状況

だ。医療制度改革や診療報酬の学習を行い、看護師20万人体制の実現

にむけた取り組みが必要だと提起した。

1日目は「医療制度改革とその対応について」

「地方公務員給与制度の見直し」「診療報酬改定と医療制度の動向」と題して3分科会を開いた。

「診療報酬改定と医療制度の動向」は全国診療報酬問題対策PTの三好正継さんが講演し、「病院の再編にむけた誘導がされている。看護師の夜勤体制が病院事業者からの訴えで労働強化につなが

る内容になっている」と述べた。その後、意見交換を行い、職務やワークライフバランスを考えた募集の仕方や、マッチングの問題があることが明らかになった。



分科会で、さまざまな意見交換を行った=自治労会館

国民春闘アンケート」から見た病院の労働実態と課題を提起し、その後、看護職と技術職・事務職に分けて職種別分科会を開き、意見交換を行った。

分科会では、「職場の慣習や人間関係が重要な要素となっている。特に看護職は、労基法や就業規則を確認していないので、何を基準として判断するか」といった学習が

必要「厳しい労働環境の中で、人間関係が希薄になり、それぞれが他者を思いやるのが出来なくなっている」といった実態が出された。

全体会では、分科会報告の後、小林議長が「さまざまな課題が共有でき

た。職場や単組に持ち帰り検討をすすめてほしい。道本部は、意見や要望を集約して、要求書提出・交渉・書面協定という闘争サイクルの確立を提起している。病院職場でも取り組んでほしい」と総括した。

石狩・後志・空知地本  
**合同教宣学習会**

3月15日、札幌市・自治労会館で「石狩・後志・空知地本道合同教宣学習会」が開かれ、17人が参加した。

学習会は、各単組でより良い教宣紙を発行するためにパソコンソフトの「パーソナル編集長」を使用して行なわれ、「自治労の教宣紙活動と教宣紙のつくりかた」と題して、引地・道本部教宣部次長が講師を務めた。

## 家族交流会で団結強化



職場だより

【釧根地方本部発】厚岸町職では、現在の理事者体制の中で運動が構築できず、執行体制も同じ顔ぶれで高齢化していた状況にありました。しかし、昨年念願の職場分会からの選出で執行部体制の強化がはかれました。我が単組の強みは元気な青年部と良妻賢母な女性部

があることです。昨年は1996年から途絶えていた「クリスマス家族交流会」を17年振りに開きました。この交流会は、組合員とその家族が交流し職場と家庭から団結を強めようと開催されました。

委員会を立ち上げることにになり、近年沈んでいた単組行事が見事に復活しました。交流会では、参加者一同暖かく幸せな楽しい時間を過ごすことができました。「仲間」とともに運動するよるこびを共感することができました。この取り組みを糧に基本組織全

体には弾みをつけていきたいと思えます。今後も、当地ブランド牡蠣「カキえもん」を食べながら頑張ります。(厚岸町職・富谷芳幸・委員長)



クリスマス交流会に子どもと一緒に参加した、厚岸町職・大屋彩乃さん

## チャレンジ! チルドレン・ファースト

### 消費税引き上げは国民の安心感を物差しに

3月15日から16日にかけて開かれた自治労全国保育関係代表者会議の場で、厚労省保育課長から「子ども・子育て新制度」の説明がありました。

その中で「質の改善」に係る費用については消費税増収分から充当される「0.7兆円ベース」のもと、必要額を積み上げて算出した「1兆円超ベース」のもと2本立てと説明しています。

現状では具体的な財源確保の方策が示されていない以上、自治体としては「0.7兆円ベース」で事業計画等を考えざるを得ないと思えますが、その0.7兆円もあくまで消費税10%を見込んだ数字です。

3月中は連日「駆け込み購入」に関する報道がありました。あるインタビューで「(増税は厳しいが)せめて有効に使ってほしい」と答えた学生が印象的でした。今後、消費税をさらに引き上げるのであれば、その時々の景気ではなく、やはり将来にわたる国民の安心感を物差しとするべきだと思います。

## 忙中余話

道本部に入職して臨時職員の間も含めて、1年が過ぎようとしている。この1年を振り返ってみると、「あっ!という間に過ぎた!」というのが正直なところだ。▼女性部・青年部の担当書記として働き、今までの自分と変わったなあと思うことは「声をあげる」ということに対して、抵抗感がなくなったことだ。▼なぜそう変わったのか、はっきりわからないが、幹事に、もっと成長していきたい。(岡かおり)